

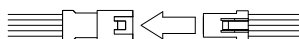
※全ての製品を取付け後、正常に作動しているか必ず確認して下さい

1 電気錠ハーネスの取付け

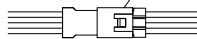
結線指示書に従って各コネクタを接続して下さい。

⚠ 錠ケースが取り出しできる様に扉の配線は、10cm以上たるませて下さい。

⚠ コネクタはカチッと音がするまで確実に差し込んで下さい。



カチッと音がするまで確実に差し込んで下さい



※ Tebraシリーズに付属されるコネクタは防水コネクタを使用しております。コネクタに防水テープを巻きつける作業は不要です。

2 錠ケースの取付け

錠ケースを取付ネジで取り付けて下さい。

⚠ 2ロックの上部側、下部側はラベルに記載されております。上下を間違えない様に取り付け願います。

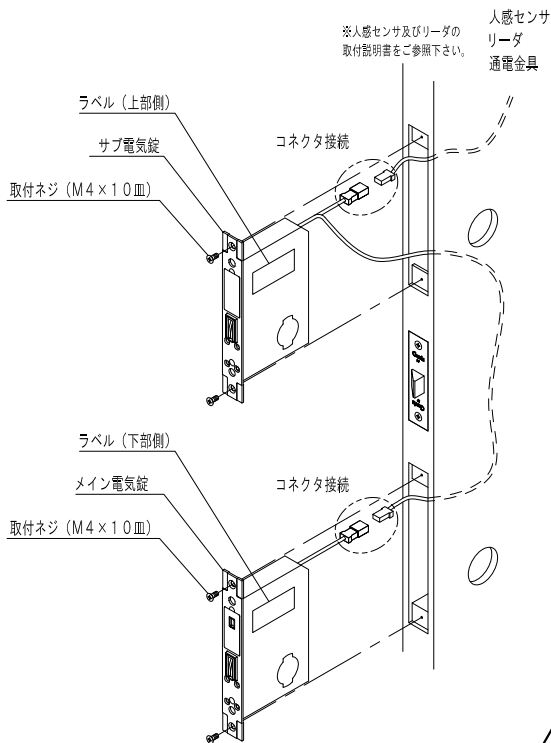
3 ストライクの取付け

【対震ストライクの場合】 : トロヨケユニット、ストライクをそれぞれの取付ネジで取り付けて下さい。

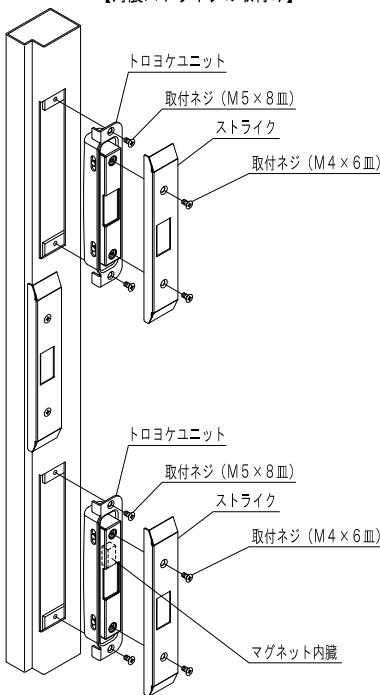
【標準ストライクの場合】 : トロヨケとストライクを取付ネジで取付けて下さい。

⚠ マグネット付のストライクは下部側に取り付けて下さい。

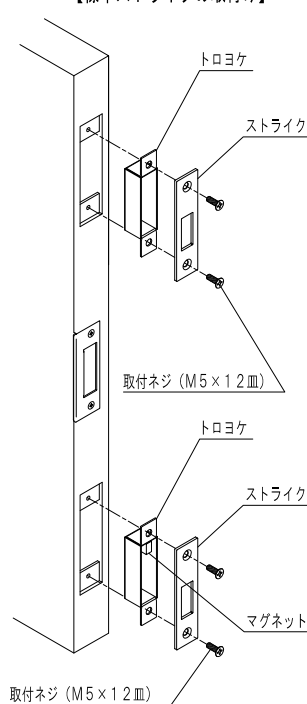
【錠ケースの取付け】



【対震ストライクの取付け】



【標準ストライクの取付け】



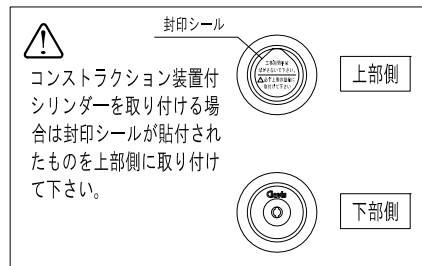
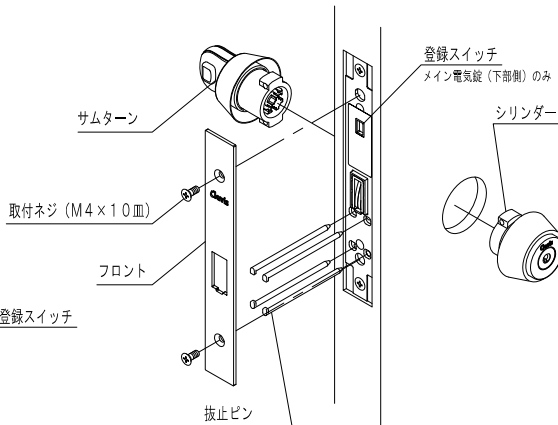
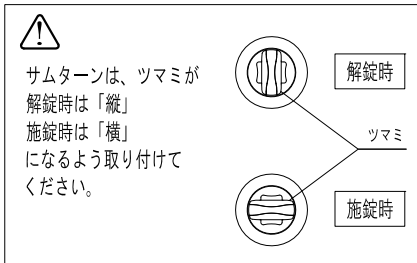
⚠ マグネット付対震ストライクには左右勝手があります。取り付ける際は、扉の左右勝手をご確認ください。(本図は、右勝手の場合を示します。)

⚠ メイン電気錠用 (下部側) のトロヨケは必ずマグネットが上向きになるように取り付けて下さい。



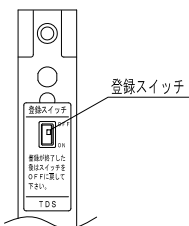
4 シリンダー・サムターンの取付け

「Clavis」刻印が上に見えるようにシリンダー、サムターンを錠ケースに差し込み、それぞれを抜止ピンで固定して下さい。



5 フロントの取付け

メイン電気錠 (下部側) の登録スイッチが「OFF」であることを確認し、フロントを取付ネジで取り付けて下さい。



6 動作確認

サムターンで正常に施解錠できるか確認して下さい。

※全ての製品を取付け後、正常に作動しているか必ず確認して下さい

Tebra専有部リーダ（扉付け 両面）

1 外部リーダを扉にはめこむ

外部リーダの電気錠用コネクタを切欠き穴から電気錠側へ、内部リーダ用コネクタを切欠き穴から内部側へそれぞれ通した状態で外部リーダ本体を扉の切欠き穴にはめ込んで下さい。

2 コネクタの接続

内部リーダの配線を取付板の配線穴に通した状態でコネクタをそれぞれ接続して下さい。

3 取付板の固定

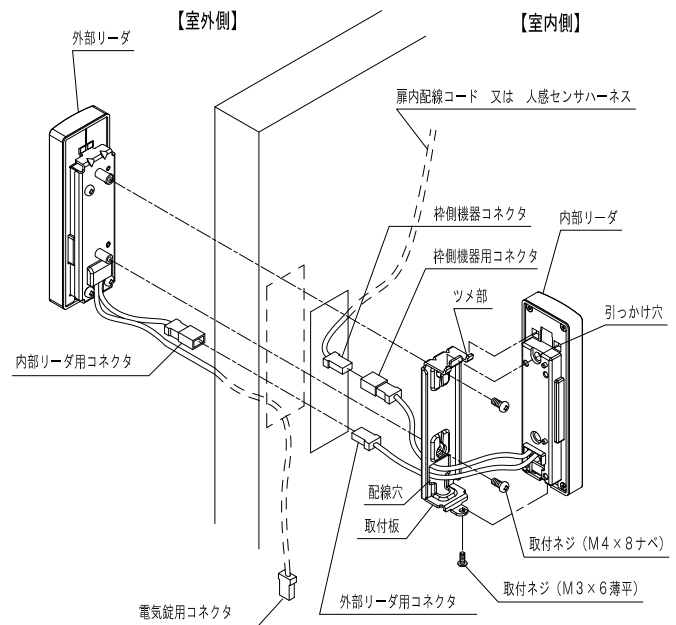
外部リーダと取付板を取付ネジで固定して下さい。



ネジを固定する前に、以下の事を確認してください。
 リーダが左右に傾いていない事
 コネクタや配線が取付板と外部リーダに挟み込まれていない事

4 内部リーダの取り付け

余分な配線を配線穴から扉内に収め、内部リーダの引っかけ穴に取付板のツメ部を引っかけた状態で下側から取付ネジで固定して下さい。



Tebra専有部リーダ（扉付け 片面）

1 コネクタの接続

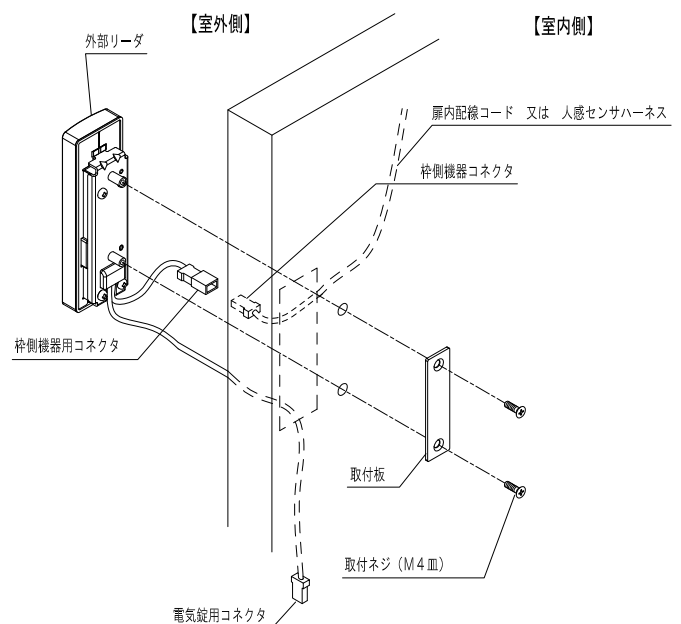
栓側機器用コネクタ接続し、電気錠用コネクタを切欠き穴から電気錠側へ通して下さい。

2 取付板の固定

外部リーダと取付板を取付ネジで固定して下さい。



ネジを固定する前に、以下の事を確認してください。
 リーダが左右に傾いていない事
 コネクタや配線が取付板と外部リーダに挟み込まれていない事



Tebra専有部リーダ（袖パネル付け）（例）

1 結線

付属の補助コードを使用して結線を行ってください。



各機器の配線色と同色になるように結線してください。

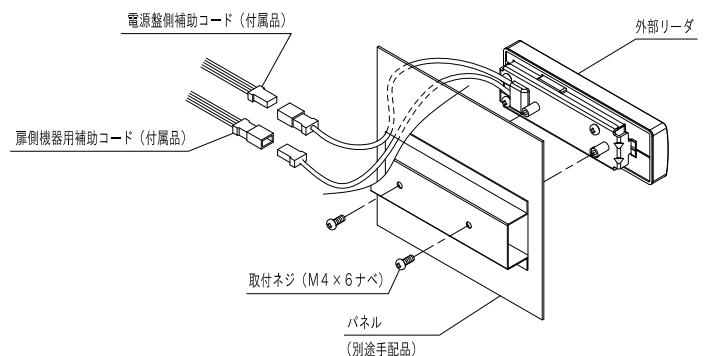
2 外部リーダの取り付け

コネクタを接続し、外部リーダを切欠き穴に差し込んで取付パネルの裏側から取付ネジで取り付けて下さい。

3 パネルの取り付け



パネルの取り付け方法は納まりによって変わる為、パネル製作メーカーに問合せください。



※全ての製品を取付け後、正常に作動しているか必ず確認して下さい

キャンセラ付 縦型・横型袖パネル仕様（例）

1 結線及びコネクタの接続

付属の補助コードを使用して結線を行ってください。

! 各機器の配線色と同色になるように結線してください。

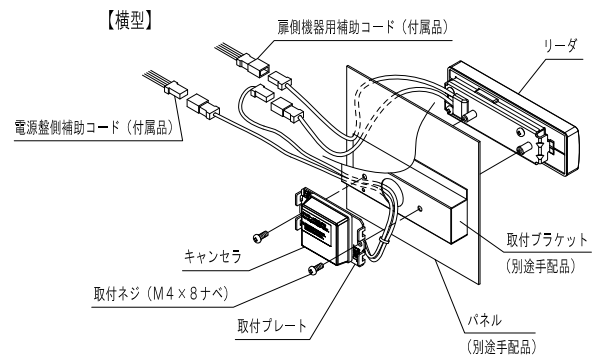
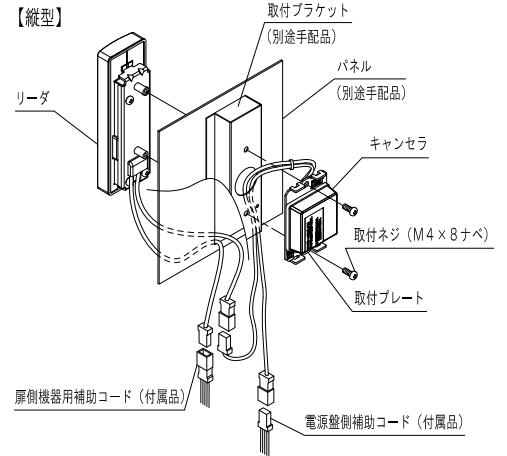
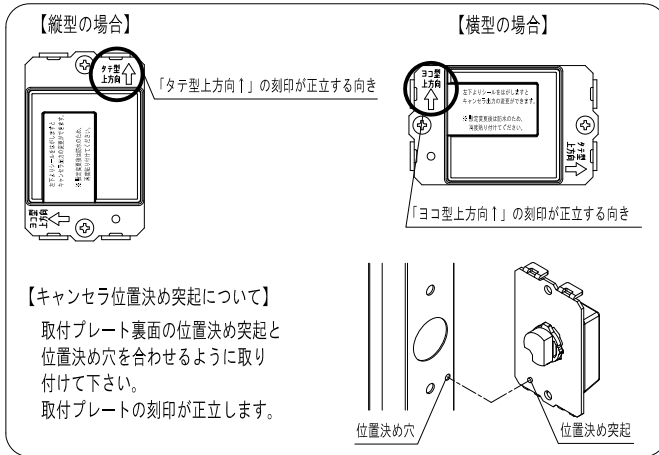
キャンセラのコネクタを切欠き穴に通して、各機器のコネクタを図のように接続して下さい。

2 リーダ・キャンセラの取り付け

リーダーを切欠き穴に差し込んで、パネルの裏側からキャンセラと同時に取付ネジで取り付けてください。

キャンセラは、取付プレートの刻印が正立する向きで取り付けてください。

取付プレート裏面の位置決め突起と位置決め穴を合わせると、取付プレートの刻印が正立する向きになります。



3 パネルの取り付け

! パネルの取り付け方法は納まりによって変わる為、パネル製作メーカーに問合せください。

キャンセラ付 縦型片面仕様

1 コネクタの接続

キャンセラのコネクタを切欠き穴に通して、各機器のコネクタを図のように接続して下さい。

外部リーダー用延長コードはコネクタを接続後、切欠き穴から電気錠側へ通して下さい。

2 リーダ・キャンセラの取り付け

リーダーを切欠き穴に差し込んで、室内側からキャンセラと同時に取付ネジで取り付けてください。

キャンセラは、取付プレートの刻印が正立する向きで取り付けてください。

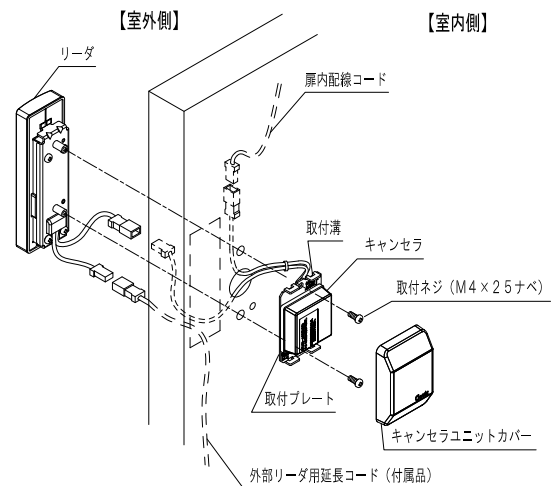
取付プレート裏面の位置決め突起と位置決め穴を合わせると、取付プレートの刻印が正立する向きになります。

詳細は【キャンセラ位置決め突起について】を参照して下さい。

! ネジを固定する前に、以下の事を確認してください。
リーダーが左右に傾いていない事、コネクタや配線がキャンセラとリーダーに挟み込まれていない事

3 キャンセラユニットカバーの取り付け

キャンセラユニットカバーの突起とキャンセラの取付溝が合うように、嵌め込むようにしてキャンセラユニットカバーを取り付けて下さい。

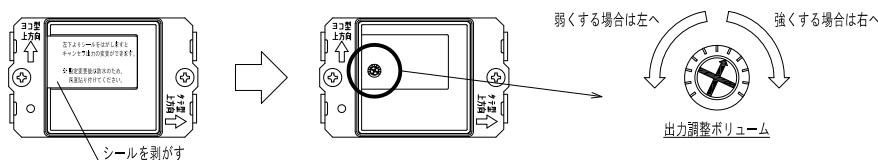


キャンセラの出力調整

室内側でハンズフリーキーを認証してしまい使用上問題となる場合は、キャンセラの出力調整を行ってください。

調整方法

シールを剥がし、出力調整ボリュームを精密ドライバーで回して調整して下さい。
出力を強くなる場合はボリュームを右へ回し、弱くなる場合は左へ回して下さい。
調整が完了したら、シールを元通り貼り付けてください。



T e b r a専有部リーダー（横型袖パネル正面取付仕様）

1 取付板の固定

取付板を切欠きに差し込んで、配線を配線穴に通した状態で、取付ネジで固定してください。

2 配線の接続

配線を配線穴に通した状態で電気錠側コネクタ、電源盤側コネクタをそれぞれ結線して下さい。

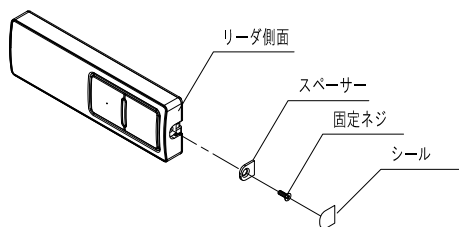
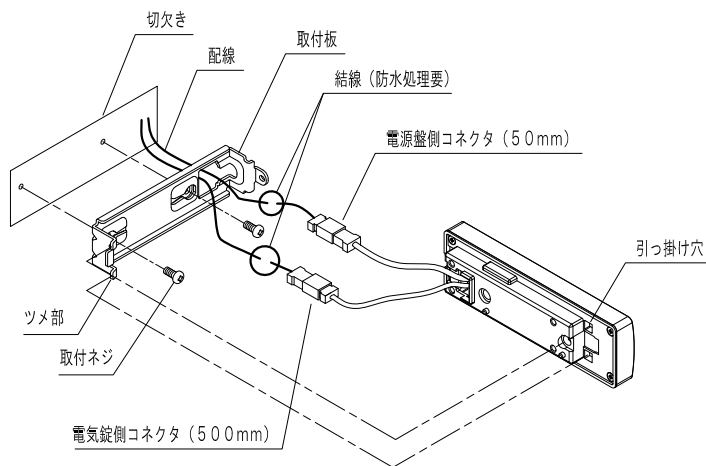
⚠ 結線後は防水テープ等で防水処理を施して下さい。

3 リーダの取付け

余分な配線を枠内に収め、リーダーの引っ掛け穴に取付板のツメ部を引っかける様に嵌め込んでリーダーを取り付けてください。

4 リーダの固定

リーダー側面からスペーサーと固定ネジでリーダーを固定し、シールを貼り付けてください。



安全のために

感電・漏電・火災等の事故や、故障の原因となりますので、この取付説明書に示した注意事項を必ずお守りください。

- 操作電源盤（TPS-01）は、扉周りや窓の近く等、室外から容易に解錠操作できる場所には設置しないでください。
- 雨や水のかかる場所・湿気の多い場所や、ホコリの多い場所には設置しないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く等、高温となる場所には設置しないでください。
- AC100V以外の電源は使用しないでください。
- AC100V電源の工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。
- 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締めすぎによって破損又は動作不良となる場合がございます。
- 製品の分解・改造はしないでください。
- 水等の液体をかけたたり、水にぬれた手で触らないでください。
- 結線作業の前に必ずブレーカーを落として下さい。

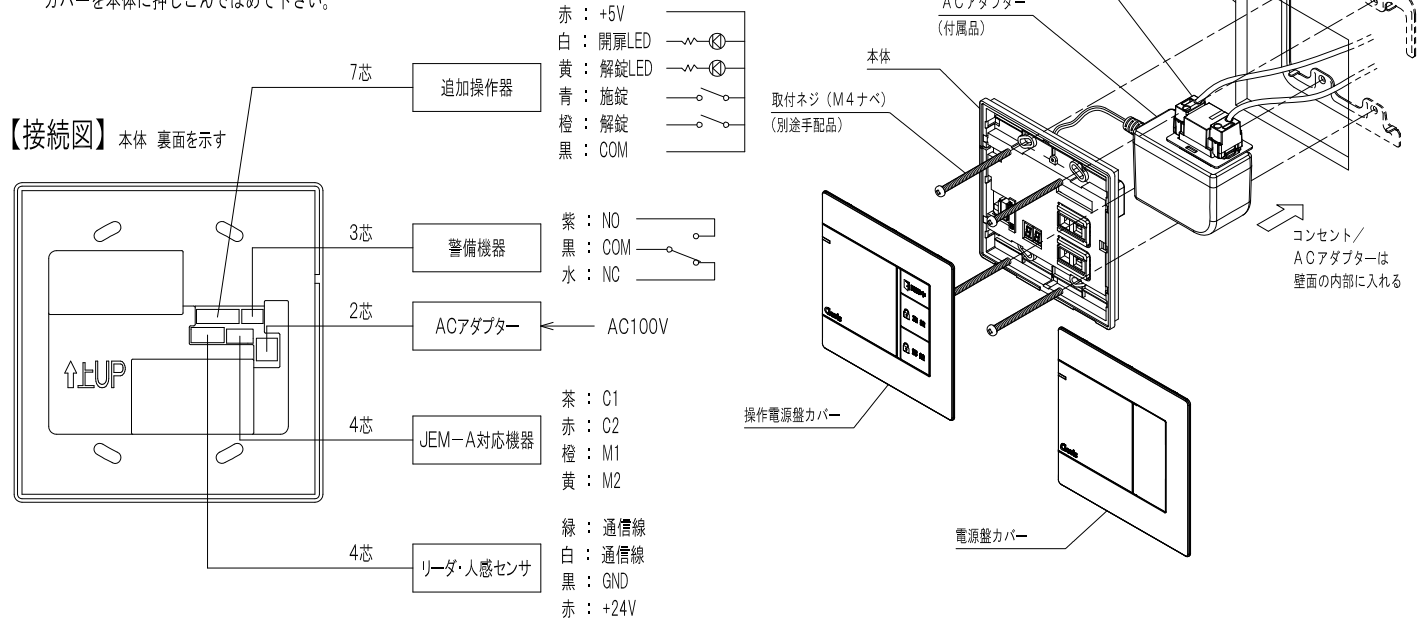
操作電源盤（TPS-01）、電源盤（TPS-02）

1 結線及び本体の取り付け

各機器を本体に接続し、AC100Vが結線されたコンセントにACアダプターを差し込み、壁面の内部に入れ、はさみ金具（別途手配品）と取付ネジ（別途）で本体を固定して下さい。

2 操作電源盤カバー又は電源盤カバーの取り付け

カバーを本体に押しこんではめて下さい。



【注意】 ACアダプターが壁面内にぶら下がる場合は、下記要領で本体裏面にコンセントを固定して下さい。

1 コンセントとブラケットの固定

コンセントをブラケットに差し込んで下さい。マイナスドライバーをブラケットの溝に挿入した状態でこじる様に回転させ、ブラケットの凸部をコンセントの凹部に差し込んで下さい。

2 ブラケットと本体の固定

本体裏面の穴とブラケットの穴に結束バンドを通して固定して下さい。※図のように結線部が上向きになるように固定すると壁面内でコンパクトに納まります。

